

Doc. No.: NR070510

2007年5月10日

彦根地区事業所に福利厚生施設を建設

～従業員へのサポート機能の充実を図り、技術開発の強化・生産能力の増強を目指す～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区／社長：橋本 正博)はこのほど、当社彦根地区事業所(滋賀県彦根市高宮町480-1)の敷地内に、従業員へのサポート機能の充実を図り、技術開発の強化と生産能力の増強を目的とした、「彦根福利厚生センター」(仮称)を建設することを決定。2008年1月の運用開始に向け、本日着工します。

近年、携帯端末やデジタル家電などの需要拡大を背景に、エレクトロニクス業界各社は半導体を中心に生産体制を強化しています。このような動向に対応するため当社は、昨年、彦根地区事業所内に半導体製造装置、フラットパネルディスプレイ製造装置の生産工場をそれぞれ建設し、生産能力の増強を図りました。また、2007年4月には、技術開発力のさらなる強化を目的に、半導体製造プロセスに関する最新鋭開発施設の建設を開始しました。

今回着工する「彦根福利厚生センター」は、このような一連の事業強化に伴う彦根地区事業所の従業員増加に対応し、既存施設における収容能力の不足や老朽化などの課題を解消するとともに、福利厚生機能を一新するものです。建設に当たっては、同事業所内に分散していた福利厚生施設を、利便性を考慮して敷地のほぼ中央に集約。採光やゆとりのあるスペースを考慮して設計された建物の内部には、最大800席の食堂、喫茶コーナーなどの飲食施設のほか、600人収容の会議ホール、研修室、コンビニエンスストア、健康相談室、各種サービスカウンターなどを設置し、福利厚生面だけでなく従業員のコミュニケーションの場としても活用できるなど、幅広い用途に利用できる施設となっています。さらに、オール電化の採用により温室効果ガス(CO₂)の排出量を年間約50トン削減するとともに、館内をバリアフリーとするなど、環境と安全にも配慮しています。

当社は今回の「彦根福利厚生センター」の建設により、従業員の労働環境の改善・向上を図り、最先端の技術開発の強化および生産能力増強に努めていきます。そして、より良い製品づくりを通じて、エレクトロニクス業界へのさらなる貢献を目指します。



彦根福利厚生センター(仮称)完成イメージ

☆ この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。
(www.screen.co.jp/press/nr-photo/)

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目

<施設の概要>

名 称：彦根福利厚生センター（仮称）

所 在 地：滋賀県彦根市高宮町480-1

敷 地 面 積：約3,800平方メートル

（彦根地区事業所の総敷地面積は約14万4,300平方メートル）

建 築 面 積：約2,900平方メートル

延 床 面 積：約5,300平方メートル

構 造：鉄骨造 2階建

総 工 費：約14億円

着 工：2007年5月

運用開始予定：2008年1月

主 な 用 途：従業員への福利厚生サービス、コミュニケーションスペースなど